

キヤノン：従来の技術の新たな運用

北京大学学生代表

見学日時：2023年12月1日（金）10:00-12:00

見学場所：キヤノン株式会社

見学概要

本社に到着した私たちはキヤノンギャラリーの所長及び従業員の皆さんから暖かい歓迎を受けた。そして所長からは中国語でのあいさつの他、貴重な写真資料を頂いた。

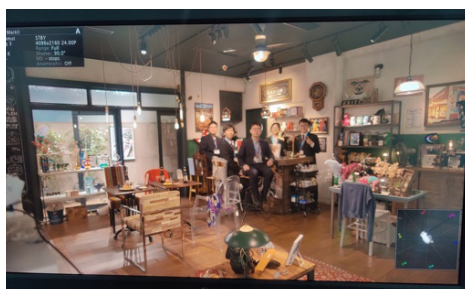


その後の見学ではまず会議室においてキヤノンのスタッフから同社の発展の歩みの他、現在の中核事業そして今後の展望について解説があり、全体的な理解をすることができた。次いでギャラリーにおいて私たちはキヤノンの主力製品であるカメラ、レンズ、プリンター、医療機器等に触れるなど間近にその素晴らしさを感じることができた。

そして私たちはキヤノンのカメラやプリンターの現実世界に対する高い再現力に驚かされたと共に、キヤノンのCT装置やMRI装置におけるヒューマンケアにも強く心を打たれた。



また私たちは解説を聞き製品を目にすると同時に、キヤノンの様々なカメラを手に取り撮影をする、さらにスタジオで映像製作をするなど、実際に撮影の体験をすることができた。



見学の後は、キヤノンの従業員との交流の時間となった。

かつて中国とシンガポールで勤務していた HR 部署の従業員との交流において、私たちは東アジア地域における従業員の分布状況について尋ねた。その結果、中国の従業員は約 30%、日本の従業員は 10 ～ 20% を占め、その他の従業員は東南アジアの国々に分布しており、中国では従業員は主に販売業務に従事し、東南アジアの従業員は製造や加工を担当、日本の従業員は研究開発を担当しているとのことであった。

その他、同従業員からは中日両国の従業員には性格的な違いが存在するとの話があり、中国人従業員は一般的に勤勉で自発的また情熱的であり、個人のパフォーマンスをより重視する傾向にあるが、日本人従業員は相対的に落ち着きがあり、チームワークを重視する傾向にあるとのことであった。こうした違いは様々な文化的背景における従業員の仕事のスタイルや価値観の違いを表していると言える。

同従業員との交流を通じて、私たちは様々な文化的背景における従業員の行動様式及び働き方について理解を深めることができた。これは異文化間のチームワークのための対応や管理にとっても貴重なヒントそして知恵をもたらすものである。

ご存じですか？

問：カメラやプリンター以外に、キヤノンにはどのような新規事業があるのか？

答：キヤノンはカメラやプリンター事業において成長していく中で蓄積した技術やものづくり精神を新規事業の模索における基盤としている。現在、キヤノンの現代医療及び半導体事業は非常に成熟している。医療事業では、CT 装置や MRI 装置において卓越した画像形成レベルを実現している他、設計面でも優れたヒューマンケアを実現している。そして半導体事業では、世界でもトップクラスのフォトレジストの生産が可能な他、半導体露光装置も世界で一流のレベルに達している。また最近ではナノインプリント技術を開発するなど大きな将来性を有している。

問：キヤノンの MRI 装置において他と異なる点は何か？

答：キヤノンは利用者により手軽で快適な体験をもたらすことに注力しており、こうした理念はキヤノンの MRI 装置にも示されている。知っての通り MRI 検査の時間は一般的に 30 分ほどかかり、検査中は大きな音がするため、長時間の苦しみから受診者は姿勢を維持することがとても難しく、それは MRI の画像形成の精度にも影響を及ぼす。そうした中、キヤノンの MRI 装置にはディープラーニング技術をベースとした Advanced intelligent Clear-IQ Engine (AiCE) 及び Precise IQ Engine (PIQE) が搭載されており、前者は検査時の音を抑え、後者は鮮明な分析画像の提供を可能にする。それ以外にも、キヤノンの MRI 装置は設計面でもヒューマンケアに富んでおり、受診者用の枕の他、映像の投影が可能なスクリーンを設置するなど検査のプロセスをより快適なものにしている。

問：キヤノンは宇宙空間での撮影をどのように実現しているのか？

答：驚くべきことにキヤノンの地球観測衛星に設置されたのは市販の EOS シリーズのカメラであり、宇宙での撮影用に新たなカメラを開発したわけではなく、宇宙用に望遠レンズを作ったに過ぎない。この点についてはキヤノンの卓越した画像形成技術の賜物である。

感想

キヤノンはカメラとプリンターで事業を起こした企業だが、近年では撮影技術や画像診断技術を他の分野と融合させることで関連分野に進出している。キヤノンの撮影技術は、地球観測衛星へのカメラの搭載、MRI 装置における機械学習技術を利用したノイズ除去、映画製作用のカメラの開発など、すでに宇宙、医療、映画等の分野に及んでいる。キヤノンは自身の優位性を発揮しつつ段階的に構造転換と高度化を行い、多くのハイテクノロジーを生み出している。時代の流れに順応し積極的な変革を行うとのキヤノンの手法は、多くの企業に構造転換における手本を示すものであり、従来型産業に携わる多くの企業はキヤノンがそれぞれの段階において行った事業の変革に学び、市場の変化に順応する必要がある。